

私たちは今、将来の変化を予測することが難しい時代を生きています。

少子化や家族のありようの変化、また情報化社会の進展とAI技術の発達は、大きな社会問題として、私たちの生き方にも大いに影響を与えています。また令和の時代を迎え、戦後に作られた様々な組織や制度に綻びが見られるようになり、これまでのことを踏襲するのではなく見直すことが必要となりました。私たちのPTA活動も例外ではなく、学校が長期間休校となったコロナ禍を経て、不要論を含む「PTA活動と組織のあり方」の議論が大きく取り上げられています。

このような中で、令和6年元日に能登半島を大きな地震が襲い、9月には大きな水害が発生しました。災害によって地域は大きな被害を受け、今もなお不自由な生活を強いられています。しかしながら、この災禍の中でもPTAは子供の日常を取り戻すために大きな力を発揮しています。その際に大きな力になったのは、全国のPTAからお寄せいただいた励ましの声や多くの支援金でした。改めて感謝申し上げます。

私たちは、これから予測できない変化に対して、持続可能（＝サステナブル：Sustainable）な未来を描きたい、そして子供が自らよりよい社会と幸福な人生を創り出していけるような環境を創りたい。家庭、学校、地域の橋渡し役として、子供を育む理想的な環境を実現するために、PTAはなくてはならない活動と組織であると考えています。そして、変化に対応するために自らの学びをアップデートし続けることが必要だと考えます。

伝統文化が息づく地「石川」。災害からの復興の道を歩む「石川」。現代に生きる「伝統」は単なる継承ではなく、「創造」の連続の結果に他なりません。古くから伝わる祭は、地域コミュニティの結びつきと「協働」の象徴であり、被災下にあってはその結びつきが地域の復元力を高めています。

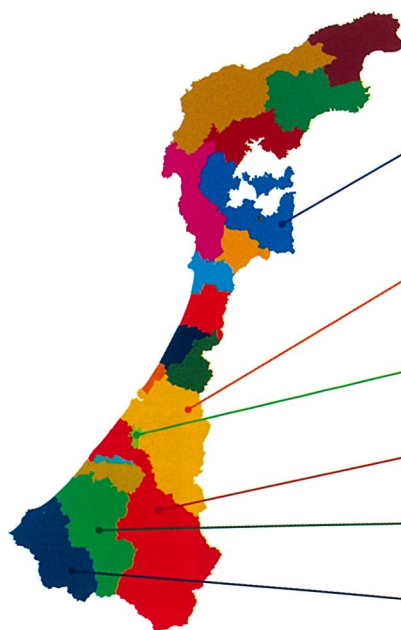
幾多の試練を乗り越え、その時代に生きた人が「創造」し、人々と「協働」して創り上げてきた「石川」は、子供を育む理想的な環境づくりを学ぶのに最適です。子供の未来のために学び合う機会となることを願い、石川大会を開催いたします。

このようなときだからこそ集い、私たちの活動の意義を再確認しましょう！

創造的・協働的な学びをつくる
PTA活動を推進します。

学びを生かし新たな行動に結び付けていく
PTA活動を推進します。

サステナブルな環境や地域づくりを
働きかけるPTA活動を推進します。



会 場		分科会・領 域	全体会
七尾市	七尾市文化ホール	第3分科会（地域連携）	分科会会場をインターネット回線で結び開催
金沢市	金沢歌劇座	第5分科会（広報活動）	
	石川県立音楽堂 邦楽ホール	特別第1分科会【日本PTA担当】	
	石川県立音楽堂 コンサートホール 【全体会 メイン会場】	特別第2分科会【文部科学省協力】	
野々市市	野々市市文化会館 フォルテ	第6分科会（SDGsウェルビーイング）	
白山市	白山市松任文化会館 ピーノ	第4分科会（人権教育）	
小松市	石川県小松市團十郎芸術劇場 うらら	第1分科会（家庭教育）	
加賀市	加賀市文化会館	第2分科会（学校教育）	

分科会

8月22日（金）午後
石川県内 8分科会

全体会

8月23日（土）午前
メイン会場・サテライト7会場

参加費

一人 5,000 円

参加者

全国小・中学校PTA会員及び関係者 6,000人

応募作品の審査を通して、作品に込められた思いやアイディアに共通する要素をデザイン化。石川の地で開催されること、石川県内19市町を違う色で表し、それぞれの市町、ひいては一人一人が持つ個性や「良さ」、多様性を尊重し、ともに歩んでいこうというコンセプトを表現しています